

## 第8回 こども 10 円商店街 実施報告書

NPO 法人 まちなびや

### ◇事業趣旨

子どもが商品販売やサービスを提供する「自分の店」を企画運営する体験を通して、多世代の人々との関わりを学習する。また、大人がお客となってこども店長を応援することで、地域の教育力向上を目指す。

### ◇実施内容

1 第1回店長会議 1月28(日) 9:30~11:30

葵生涯学習センター 31 会議室

参加者 こども店長 29名 保護者約 16名 スタッフ 5名  
アイセルスタッフ 1名

- ・保護者・こども合同ガイダンス
- ・販売品・提供サービス、店名を決める
- ・しず信レクチャー・あいさつの練習
- ・看板(のぼり旗)づくり



2 第2回店長会議 2月11日(日) 9:30~11:30

葵生涯学習センター 大音楽室

参加者 こども店長 31名 スタッフ 7名  
アイセルスタッフ 2名

- ・販売リハーサル・売上表記入練習
- ・防災レクチャー 三浦次長様(葵生涯学習センター)

※11:30~14:00 まで商品・看板製作(希望者 20名ほど)



3 こども 10 円商店街本番 2月25日(日) 10:00~12:00・13:00~15:00

葵生涯学習センター 入口ロビー

参加者 こども店長 32名 スタッフ 6名 しずおか信用金庫 13名 アイセルスタッフ 4名  
一般来場者約 2,780名

- ・販売、サービスの提供 → 総売上 21,610円
- ・両替対応・売上集計(協力:しずおか信用金庫)



<出店一覧 全 14 店舗>

販売系	ゲーム・くじ系
tuinkuru Furawa	コイン落としゲーム
ほうせきすくい屋さん	ボーリング屋
いろきらアクセ	わくわくカーリング
手作りショップ	くじランド
キラキラざっかやさん	ひもくじや
ジュエリーやさん	何がつれるかな つりゲーム
	スーパーガチャゴ
	楽しいくじやさん

4 第3回店長会議 3月4日(日) 13:30~15:30

葵生涯学習センター 31 会議室

参加者 こども店長 30名 大人スタッフ 6名

寄付先 2団体 3名

(ママの部活動 金澤様・井上様、  
鈴木邸子ども自然遊びの会 とうご様)

- ・ 寄付先団体からのプレゼンテーション  
→ こども店長による投票・寄付金贈呈式

※金額：ママの部活動 8,100 円、

鈴木邸子ども自然遊びの会 13,510 円)

- ・ 振り返り (4~5 店舗ずつのグループで意見交換)
- ・ スペシャル商店街 (8 店舗出店)
- ・ 修了証贈呈



**◇事業の成果と課題**

第8回実施の成果として3点挙げる。1点目は、子どもたちの達成感・満足度が高かったことである。子どもたちには、店長会議各回と本番の終了直後、ふり返しシートの「今日の10円商店街はどうだったかな?」という質問に対し、毎回87%以上のこども店長が「とてもたのしかった」と回答した。本番終了後のふりかえりシートには、「呼びかけとか頑張りました。そしたらお客さんがいっぱい来て嬉しかったし、大変でした」をはじめ、接客や商品が売れたことへの記述が多く見られた。また、一人の子どもに着目すると、店長会議②では「上手に接客した方がお客さんも来てくれるので、笑顔で接客したい」と書かれていたが、本番終了後は「声を大きくして接客できた。前よりたくさん売ることができた」と、リハーサルでのふりかえりをもとに本番に挑んだことから、達成感を得られたことがうかがえる。

2点目は、参加率が増加したことである。協働での開催となった第3回番町市民活動センター学園祭からの平均参加率は、第3回88%、第4回93%、第5回87%、第6回95%、第7回86%、第8回96%と推移している。アイセルでは3度目の実施となり、微増ではあるが過去最高となった。また、今回のこども店長32名中9名はリピーターで、このリピーターを中心に新たなメンバーで参加する店長もおり、回を重ねることによるお店運営の上達ぶりも著しい。そうしたリピーターが新たなこども店長

たちに刺激を与えている。

10円商店街終了後に保護者にもアンケートを実施しているが、回収率が今回大変高かった。こども店長たちの成長ぶりから「いい体験となった」との感想が多く、回答者の96%が「お子様をまた『10円商店街』に参加させたい」に肯定的な回答を示した。こどもが地域社会で学ぶ貴重な機会になっていることと合わせ、保護者にとっても子どもとのかかわりを学ぶ貴重な機会になっていると考えられる。

3点目はわいわい祭りの一環として実施していることについて、アイセルスタッフより、大変良い異世代交流となっているとのこと、高齢者が「よその孫育て」に参加する機会となっていることが伺えた。協働の意義が発揮され、喜ばしい成果である。

一方で、課題を2点挙げる。一つは、こども店長の低年齢化である。今回のこども店長のうち小学1年生～3年生は66%であったが、近年参加者の低年齢化が見られる。低学年の子どもたちに向けた、お店づくりやお金の計算のアドバイスなどを検討していきたい。

もう一つは、売上金の集計である。今回のリハーサル・本番において、低学年の子どもたちをはじめ、商品の売り上げを正確に計算できないお店が多数あった。売上表の記入に対するサポートについて、検討していきたい。

さらに今後の展望として、楽しく学び合いのある内容にしていくと共に10円商店街ノートなど足跡を記録するアイテムの開発をしていきたい。また、中学生となったこども店長経験者や高校生・大学生ボランティアも検討し、サポートスタッフの確保をしていきたい。

#### ◇実施体制

主催：静岡市葵生涯学習センター、NPO法人まちなびや

協力：しずおか信用金庫、千代田スクール、静岡大学教育学部塩田研究室

◇後援 静岡市教育委員会

#### ◇大人スタッフ

板倉りえ子、多々良直樹、田中知子、戸谷雄一、廣瀬拓哉、村田優、弓削幸恵、勝村明、片山裕翔  
9名

しずおか信用金庫様 13名



子ども思いの森  池田屋

本事業は、池田屋「子ども思いの森 生きるカファンド」の助成によって実施しました。